

# ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 7.0

## インストールガイド

ESXi サーバでアレイを構築して使用する、または SSD の寿命情報の監視を行う場合、『ServerView RAID Manager』を使用できます。

VMware vSphere ESXi 7.0 (以後、ESXi 7 または ESXi と略します)サーバで ServerView RAID Manager を使用する際には、以下の手順でインストールと設定をおこなってください。

### 1 ServerView RAID Manager のインストールと設定

#### 1.1 ServerView RAID Manager をインストールします。

ゲスト OS、もしくは Windows または Linux のサーバを別途用意して、そこに ServerView RAID Manager **v7.3.2 以上(最新版を推奨)**をインストールしてください。

※ OS の版数、パッチによってサポート対象となる ServerView RAID Manager の版数は異なります。詳細については、以下ダウンロードページで提供されている ServerView RAID Manager の詳細情報(readme.txt) の「3.動作環境 - 2」監視対象」に記載の情報にて確認してください。

「FUJITSU Server PRIMERGY ダウンロード」

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

「PRIMEQUEST > ダウンロード」

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/download/>

ServerView RAID Manager のインストール方法は、「ServerView RAID Manager ユーザーズガイド」を参照してください。

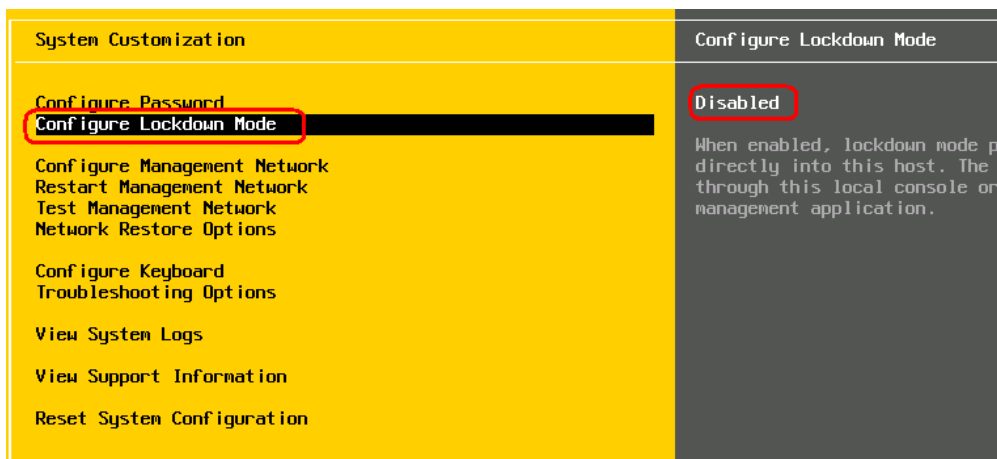
注) 自ホストの名前解決ができるように設定してください。そのときにホスト名を 127.0.0.1 以外の外部と通信ができる IP で解決できるように設定してください。

名前解決できない場合は ESXi サーバを監視できません。

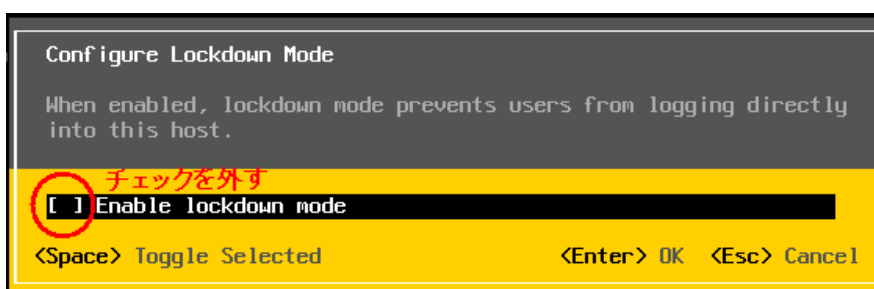
#### 1.2 ロックダウンモードを無効にしてください。

※ ロックダウンモードは vCenter Server 以外からの ESXi ホストへの操作を禁止するモードです。スタンドアロンで使用している場合は、この作業は必要ありません。

- ESXi ホストからロックダウンモード無効化(標準のロックダウンモードのみ)  
ESXi のトップ画面より F2 キーを押して“Customize System”画面を呼び出し、Configure Lockdown Mode が Disabled になっていることを確認します。



もし、Enabled になっている場合は、設定を Disabled に変更してください。



- vCenter Server からロックダウンモード無効化(厳密なロックダウンモード、標準のロックダウンモード)無効化手順につきましては VMware 社提供マニュアル、「vSphere のセキュリティ」を参照願います。  
 ※ VMware 社提供のドキュメントの詳細につきましては、「VMware vSphere 7.0 ソフトウェア説明書」を参照願います。

### 1.3 ESXi ハイパーバイザーのサーバ接続情報を追加します。

ServerView RAID Manager に ESXi ハイパーバイザーのサーバ接続情報を追加します。  
 ServerView RAID Manager が動作しているサーバで、以下の手順で amCLI コマンドを実行するか、または ServerView RAID Manager の GUI 画面から「ESXi サーバの追加」を行ってください。

- amCLI コマンドでサーバの接続情報の追加

amCLI コマンドは ServerView RAID Manager のコマンドラインツールであり、構文は Windows/Linux で共通です。以下に Windows の場合の実行例を表示します。

```
> cd C:\Program Files\Fujitsu\ServerView Suite\RAID Manager\bin
> amCLI -e 21/0 add_server name=<ServerName | IP Address> port=5989
username=<UserName> password=<UserPassword>
```

- ※ 環境によりシステムドライブ(C:)は異なる場合があります。
- ※ Linux の場合は、実行パスを以下に読み替えてください。  
 Linux            /usr/sbin

## 各種パラメータの説明

パラメータ	内 容
amCLI	ServerView RAID Manager のコマンドラインツールです。
-e 21/0 add_server	ESXi サーバの接続情報を追加するためのオプションです。
name=	ESXi サーバ名または IP アドレスを設定します。
port=	ESXi サーバの CIMOM に https 接続するためのポートを指定します。
username=	ESXi サーバの CIMOM にアクセスするためのユーザー名を指定します。
password=	ユーザー名に対応するパスワードを指定します。 ※設定したパスワードは暗号化されて保存されます。

### ● Java GUI 画面からサーバの接続情報の追加

ストレージデバイスツリーの最上位ノードを右クリックし、「ESXi サーバの追加」を選択して接続パラメータを入力して下さい。

The top screenshot shows the ServerView RAID Manager interface. The left pane displays a tree view with 'G02PLXNNOW29107' selected. A context menu is open, and 'ESXiサーバの追加...' is highlighted. The right pane shows system details for the selected node.

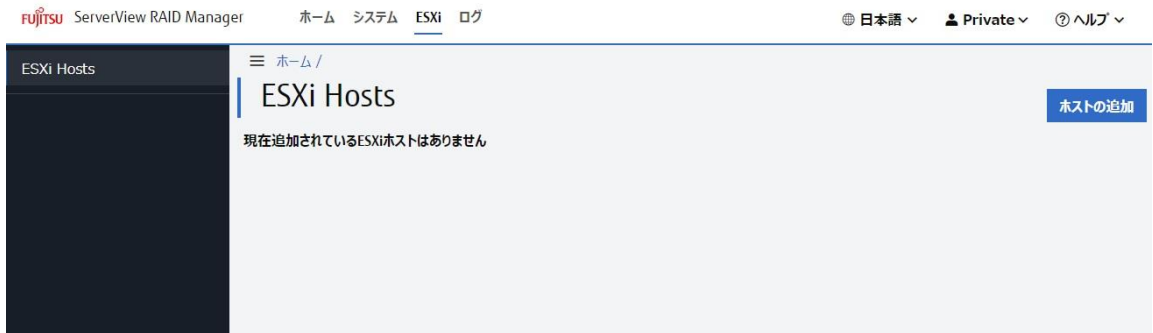
The bottom screenshot shows the 'サーバの追加: G02PLXNNOW29107' dialog box. The fields are filled as follows:

- 名称: 10.172.181.29
- ポート番号: 5989 (1..10000)
- ユーザ名: root
- パスワード: \*\*\*\*\*\*
- ホスト証明書: (empty)
- クライアント証明書: (empty)
- クライアントキーファイル: (empty)
- コメント: (empty)

Buttons '作成' (Create) and 'キャンセル' (Cancel) are visible at the bottom of the dialog.

- HTML5 GUI 画面からサーバの接続情報の追加

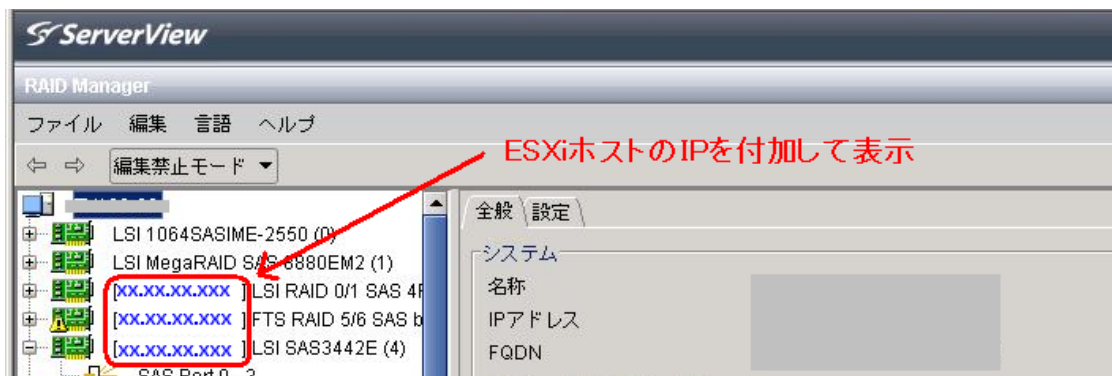
上部メニューの「ESXi」をクリックし「ESXi Hosts」画面に遷移後、「ホストの追加」をクリックして表示される「ESXiホストを追加ダイアログ」に接続パラメータを入力して下さい。



#### 1.4 インストールと設定は完了です。

正しく登録できた場合、ServerView RAID Manager の画面左のツリーに「[ESXi サーバの IP]コントローラ名」の形式で表示されます。

< 画面例 >



表示されない場合は「2 ESXi サーバと通信できているか確認する場合」にて、ESXi サーバと正しく接続できているかご確認ください。

## 2 ESXi サーバと通信できているか確認する場合

設定した ESXi サーバと ServerView RAID Manager が正常に通信できているか確認する場合は、amCLI -e 21/0 verify\_server コマンドを使用します。

```
> amCLI -e 21/0 verify_server name=<ServerName | IP Address>  
*登録時と同じ形式で指定してください。
```

実行結果が「Status: OK」の場合は正常です。

それ以外の応答があった場合は、ESXi サーバと正常に通信できていないことが考えられますので、それぞれのサーバの各種設定(ファイアウォールの設定、名前解決の設定、ホスト名および IP アドレスの設定、パスワードの設定、等)をご確認ください。

## 3 設定した ESXi サーバの一覧を参照する場合

設定した ESXi サーバの一覧を参照する場合は、amCLI -e 21/0 show\_server\_list コマンドを使用します。

```
> amCLI -e 21/0 show_server_list
```

このコマンドは、amCLI -e 21/0 add\_server で追加した全ての ESXi サーバを接続の可否・設定ミス等に関係なく一覧で表示します。

## 4 設定した ESXi サーバ接続情報を変更する場合

設定した ESXi サーバ接続情報を変更する場合は、amCLI -e 21/0 modify\_server コマンドを使用します。例えば、ポート番号を 5988 に変更する場合は、次のコマンドを実行します。

```
> amCLI -e 21/0 modify_server name=<ServerName | IP Address> port=5988  
*登録時と同じ形式で指定してください。
```

ユーザー名を<new user>に変更する場合は、次のコマンドを実行します。

```
> amCLI -e 21/0 modify_server name=<ServerName | IP Address> username=<new user>  
*登録時と同じ形式で指定してください。
```

パスワードを<new pass>に変更する場合は、次のコマンドを実行します。

```
> amCLI -e 21/0 modify_server name=<ServerName | IP Address> password=<new pass>
```

\*登録時と同じ形式で指定してください。

## 5 設定した ESXi サーバ接続情報を削除する場合

設定した ESXi サーバ接続情報を削除する場合は、amCLI -e 21/0 delete\_server コマンドを使用します。

```
> amCLI -e 21/0 delete_server name=<ServerName | IP Address>
```

\*登録時と同じ形式で指定してください。

### ■注意事項

#### 1. ESXi の Fujitsu 版以外を使用している場合は RAID 監視できません。

ESXi には、Fujitsu 版の他にオリジナル版や他社版が存在します。

Fujitsu 版以外を使用した場合、RAID 監視するための必要なコンテンツが含まれていないため RAID 監視できません。

ServerView RAID Manager のインストールは成功しますが、ServerView RAID Manager(GUI)を起動したときにコントローラや HDD 等が画面に表示されません。

RAID 監視するためには、**必ず Fujitsu 版をご使用ください。**

#### 2. ESXi7.0 GA 版の Fujitsu Custom Image(v500-1)を使用している場合、このイメージには監視に必要な LSI CIM Provider が同梱されていないため以下の制限が存在します。

- 利用可能な LSI CIM Provider がないため、コントローラは表示されません。
- コントローラのアクションを実行できません。
- オンボードアレイコントローラ、または PSAS CP40x コントローラに接続され、エキスパンダーやハードディスクキャビネットを介しないドライブの監視が可能です。  
論理構成にないドライブは AHCI の下に表示されます。

※ LSI CIM Provider が必要な場合、ESXi 7.0b(v501-1)、または ESXi7.0U1(v510-1)以降の Fujitsu Custom Image を適用してください。

#### 3. ServerView RAID Manager サービスの起動前に、CIM サービスが起動していることを確認してください。

ServerView RAID Manager サービスを起動する場合は、**必ず ESXi サーバ上の CIM サービスが起動していることを確認してください。**停止している場合は、事前に CIM サービスを起動してください。

VMware ESXi サーバの RAID 構成は、ServerView RAID Manager のサービス起動時に CIMOM を経由して取得します。このため、CIM サービス停止中に ServerView RAID Manager のサービスを起動すると、RAID 構成を認識することができません。

もし RAID 構成が表示されない場合は、CIM サービスを再起動しサービスが起動したことを確認後、あらためて ServerView RAID Manager サービスの再起動を実施してください。

#### 4. 仮想デバイスの監視は不要です。

ゲスト OS(Windows のみ)に ServerView RAID Manager をインストールした場合、画面左のツリーに仮想デバイスが表示されます。仮想デバイスは監視不要ですので**該当する画面の情報やイベントは無視してください。**



5. **ESXi サーバを多数登録している場合はコントローラや HDD が表示されるまで時間がかかります。**  
 ServerView RAID Manager に ESXi サーバを多数(数十台以上)登録すると、サービス起動後の ServerView RAID Manager の初期化に時間がかかる(数時間以上)場合があります、ログインしてもすぐにコントローラや HDD が表示されません。  
 したがって、サービス起動後は充分時間をおいてからログインするか、または ESXi サーバの台数を分割して複数の ServerView RAID Manager にて監視することを推奨します。
  
6. **ESXi ホストのパスワードにメタ文字は使用できません。**  
 ESXi ホストのパスワードにメタ文字が含まれている場合、ESXi サーバを ServerView RAID Manager に正しく登録できません。ESXi ホストのパスワードにメタ文字を使用しないでください。
  
7. **ESXi サーバの vmk0 インタフェースの割当てについて。**  
 ESXi では、vmk0 と呼ばれる最初のカーネルインタフェースが、物理 MAC アドレスが割り当てられている唯一のインタフェースです。このインタフェースの IP アドレスのみを物理 LAN ポートに直接割り当てることができます。vmk0 インタフェースを非活性化すると、マネジメントブレードに構成された MAC アドレスの1つに割り当てることができる IP アドレスがなくなるため、ブレードサーバの監視に問題が発生します。ServerView Operations Manager のサーバリストサービスによって、ESXi システムが発見されません。
  
8. **ESXi ホストのパスワードを変更した場合について**  
 監視対象サーバのユーザ名、パスワードを変更した場合、「4 設定した ESXi サーバ接続情報を変更する場合」のコマンドで、ServerView RAID Manager に登録したユーザ名・パスワードも変更してください。正しいユーザ名・パスワードが登録されていない場合、監視が出来なくなるほか、アカウントロック機能が働く可能性があります。
  
9. **その他の追加・修正・補足事項**  
 ServerView RAID Manager, ServerView ESXi CIM Provider, ServerView RAID Core Provider に関して、追加・修正・補足事項を以下の URL で公開しています。  
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/additional-info.html>  
 また、モジュール添付の Readme.txt にも最新の注意事項を記載してありますので、ご確認ください。

## 更新履歴

版数	変更内容	日付
初版	新規作成	2020年07月14日
2版	注意事項2の修正	2020年12月22日